

令和4年度 事業報告

【補助事業】 公益財団法人 JKA 助成事業

(1) デジタルワイヤレス補聴援助システム無償貸与【ロジャーシステム】

14台購入・貸与（マイクとロジャX1台、及び8個のシューは協会が負担）

(2) 乳幼児教育相談支援事業

乳幼児教育支援事業研修会への講師派遣制度を新設した

聾学校では経験の無い先生方が増えて、ろう教育の財産が継承されていきにくくなっている。

そこで、指導経験豊富な先生方を、希望のあった聾学校へ講師として派遣する試み。

（令和4年度13校で実施。好評で、来年度も希望の問い合わせが来ている）

【一般事業】

(1) 事業案内の送付等

全国聾学校に事業案内の送付 5月13日(金)

全国聾学校長会総会で送付 6月ZOOM方式で出席

全国ろう学校PTA連合会総会で事業説明 6月ハイブリッド方式で配布

国会議員に対しては、衆議院選挙後に配布

※ホームページに掲載していつでも見られるようにしている。

(2) 第45回聴覚障害児を育てたお母さんをたたえる会

開催日:令和5年1月23日(月) 憲政記念館が建て替えて3年ぶりに青山学院講堂で開催

受賞者(41名 母親39, 父親2) 出席者(17名 母親17名)

後援: 文部科学省・厚生労働省・東京都教育委員会・全国聾学校長会

・全国ろう学校PTA連合会

(3) 第26回全国聾学校絵画展

最優秀賞2点(内1点文部科学大臣賞)・優秀賞14点・佳作42点【全応募数419点】

審査委員会: 令和4年8月8日(月) 福祉財団ビル7階大会議室

展覧会: 令和4年10月6日(木)・7日(金) 第56回全日本聾教育研究大会(愛知大会)

「ウイंकあいち」において開催

表彰式: 最優秀賞・文部科学大臣賞受賞者在籍校に会長が赴いて水戸聾学校で実施、

もう一つの最優秀賞は、専務理事が赴いて長野聾学校で表彰式を実施。

後援: 文部科学省・全国聾学校長会・全国ろう学校PTA連合会

(4) 第34回全国聾学校合奏コンクール

課題: 自由曲1曲

金賞並びに文部科学大臣賞・銀賞各1校・銅賞のみ2校、努力賞・奨励賞若干校【全参加学校17】

審査委員会: 年3回(4月、11月、令和5年1月13日(金)二次審査)

表彰式: 金賞・文部科学大臣賞受賞校に会長が赴いて大塚ろう学校で実施

後援: 文部科学省・東京都教育委員会・全国聾学校長会・全国ろう学校PTA連合会

(5) 第17回全国聾学校作文コンクール

テーマ：自由題

金賞各部1編計3編・銀賞、銅賞各部2編計12編・努力賞各部3編計9編【全参加校28校、121編】

佳作各部計16編 合計44編 小学部低学年(1年～3年)は日記・絵日記による応募含む

企画審査委員会：年3回 コンクールの企画、第二次審査、講評

調査研究委員会：年3回 応募作品集約、第一次審査、応募作品の分析研究調査等

表彰式：「お母さんをたたえる会」において金賞・文部科学大臣賞受賞校に会長から授与

共催：公益財団法人聴覚障害者教育福祉協会、全国聾学校長会

後援：文部科学省・東京都教育委員会・全国ろう学校PTA連合会

(6) 読字力検定試験 年3回(6月・10月・2月)実施【参加校60校 参加者延べ2466名】

(7) 聴覚障害教育関係資料収集事業 専門図書の閲覧サービス協力

(8) 会報「響き」の発行 年2回 第81号、第82号

(9) 募金活動 ・ハマナス募金目標額14,000,000円【今年度の金額8,912,855円】

クラウドファンディング目標額 3,000,000円【達成額20,75,000円

⇒10,987,855円(手数料388,025) ⇒10,599,830円

(10) 法律相談 ～インターネット等による法律相談～ 2件(金銭問題、雇用問題)

(11) 専門図書、ビデオの紹介・頒布 DVDの注文や価格について注文あり。事前の支払いが公的機関は難しく、送付後に支払われた。

(12) 協会ホームページをサービスブランドの支援を受けて刷新。現在も更新中。

(13) 聴覚障害研究団体での展示会場費

全日本聾教育研究会【10万円】

(14) 聴覚障害乳幼児教育相談委員会

聴覚障害乳幼児教育相談に関わる議員連の会議に出席、発言。

(15) 資料収集委員会 大塚ろう学校資料室開室。今年度も熱心な研究者の利用があった。しかし、校舎改築のため現在利用が出来ない。